

2025年8月3日  
8月第一主日礼拝式／聖餐式



# 「注がれた愛」

愛する友のために いのちを捨てる  
これほど大きな愛があるだろうか  
逃(のが)れる道もなく なにかを求めて  
わたしがまだ罪の中にいたとき

キリストがわたしのために  
いのちを投げだして  
その愛を 永遠の愛を  
心に注がれた~~~~♪

## 8 マジスティ

神の小羊イエスに 栄光といきおいと  
知恵と力と富と ほまれと賛美をささげよう  
天の栄光のみ座の前に  
みんな ひれふし あがめよう  
全地のすべての民よ  
十字架のみわざをたたえよう

新聖歌433番 「天(あま)つ真清水(ましみず)」

- 1 天(あま)つ真清水(ましみず) 流れ来て  
あまねく世をぞ 潤(うるお)せる  
永(なが)く渴きし わが魂(たましい)も  
汲(く)みて命に 帰りけり
- 2 天つ真清水 飲むままに 渴きを知らぬ 身となりぬ  
尽きぬ恵みは 心のうちに 泉となりて 湧き溢る
- 3 天つ真清水 受けずして 罪に枯れたる ひと草の  
栄えの花は いかで咲くべき 注げ 命の 真清水を  
アーメン

# 使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。  
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。  
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、  
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、  
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、  
三日目に死人のうちよりよみがえり、  
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。  
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。  
われは聖霊を信ず。  
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、  
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、  
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌49番 「しみも咎(とが)も」(聖餐式)

- 1 しみも咎(とが)も 汚れもなき  
小羊わが主は ほふられしや
- 2 こは わがため 十字(じゅじ)の上に  
釘(くぎ)もて裂かれし みからだなり
- 3 こは わがため のろい受けて  
流させたまいし 君(きみ)が血なり
- 4 こは わがため 与えたもう  
いのちの糧(かて)なり 飲みものなり
- 5 なつかしくも 見失(う)せし主は  
まもなく再び 来たりたまわん
- 6 その時まで 十字架を負(お)わん  
救いの恵みを 喜びつつ                      アーメン

## 新聖歌365番 「君なるイエスよ」

- 1 君なるイエスよ 汚れしわれを 洗いきよめて  
恵みを賜え わが日わが時 わがもの皆は  
今より永遠(とわ)に 君のものなり
- 2 わが手は君の み業をならい われの歩みは  
みあとを踏みて いそしみ進み 主のみちからに  
常に頼りて 強からしめよ
- 3 われの舌をば 救いの主(ぬし)の 恵みを歌う  
器(うつわ)となして わがくちびるに よきおとずれを  
溢(あふ)るるばかり 満たしめたまえ

【次】

新聖歌365番 「君なるイエスよ」

4 黄金白金(こがねしろがね) 知恵も力も  
献げまつれば 皆 取り 用(もち)い  
われの心を 御座(みくら)となして  
み旨(むね)のままに 治めたまえや

アーメン

# 主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらのにちようの糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌60番 「天地(あめつち)こぞりて」

あめつち こぞりて

かしこみたたえよ

みめぐみ あふるる

父 御子(みこ) 御霊(みたま)を

アーメン